

ご協力ありがとうございます！  
(敬称略)

【8・9月の新入会】

広田 弘一 (センター)



下川 陽一郎 (センター)

【8・9月の寄付金】

株式会社明日香園、飯川 博基、誠新産業株式会社

【8・9月の寄付品】

はぐくみ会、リスロン(株)、馬場雄治、瓜生道明、(有)マキイ、  
株タカモト福岡支店、(株)丸善自動車、島津、今任自動車、  
坂本進、加藤順市郎、石橋栄子、桜山勝善、ラボパーティ  
福岡市立早良中学校、伊藤宏、三浦悟美、早良警察署  
福岡リバティライオンズクラブ、ソノダ、筑豊金網工業株

鬼木大明神 今月の一句

不運が続いたり、不幸が重なったり、八方塞がりになることは人間だれしもあることだ！要はそのピンチを逆境と思うか、チャンスと思うかだ！そのピンチの時こそ気持ちを強くもち前を向こう！なんでも良い。



中秋の名月 🌙

10月1日の夜、研修生からテレスコープありますか？と聞かれ、望遠鏡を出して月をみました。ニンさんガレンズをうまく調節してくれて月面まではっきりみることが出来ました！うさぎの形もみえたようです。研修生達は望遠鏡で月を見るのは初めてで、月の美しさに驚いていました。(園田)



体験農園だより

新型コロナウィルスの影響で外出を控えるようになり、どこかでストレスを発散したい、子どもを自然豊かな所へ連れていきたいという思いを持つ方が多くなったお陰で、体験農園への参加を希望する方が今期(9月～翌年2月末)にはすでに5件も増えて、近年ではめずらしく37件の参加者で農園がスタートしました。

9月5日(土)に今期初めての作業が行われたのですが、初めて参加した方で当日収穫したナスと当日友人に勧められて購入したオイスカ米と特製トマトジュースを家で食べたら、これがとても美味しいと嬉しくなりましたと嬉しいコメントをいただきました。コロナ禍で様々な活動が制限される中で、自然に触れること、土に触れること、そして美味しい季節の味覚を味わえること、そのような当たり前の日常に改めて価値を見出すよい機会になっています。(豊田)



10月の予定

- 1日 佐賀国際フェスタパネル展示(～10日)
- 3日 稲刈り大会
- 4日 佐賀国際フェスタステージ
- 10日 朝倉推進協議会役員会
- 14日 早良高校職場体験(15日、19日、20日)
- 15日 佐賀県推進協議会幹事会
- 16日 九州電力総連宿泊研修(～18日)
- 17日 中野総裁をしのぶ会
- 26日 さざなみ保育園交流会(予定)
- 28日 若竹保育園芋掘り

# まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部

福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: [oiscantc@oiscac.org](mailto:oiscantc@oiscac.org) 検索 オイスカ西日本



←Facebookに日頃の様子を更新中！  
是非チェックお願いします！



第681号  
令和2年10月号付録

## 佐賀県議会オイスカ国際活動推進議員連盟設立総会

8月31日(月)、佐賀県議会にて「佐賀県議会オイスカ国際活動推進議員連盟」の設立総会(会長:藤木卓一郎県議)が行われました。設立は顧問の桃崎峰人佐賀県議会議長をはじめ16名の県議で構成され、九州では福岡に続いて2カ所目の県議連の誕生となりました。

この設立総会には、福岡県議連の塩川秀敏会長をはじめ数名の県議が参加され、また長崎からも今後の県議連設立のため山下博史県議が出席されました。その他、東京本部から廣瀬副理事長、西日本研修センターから廣瀬所長をはじめスタッフや研修生、佐賀県推進協議会からは島松会長をはじめ幹事など合わせて60名ほどが出席しました。

第一部で設立総会が行われ、第二部では場所を変えて最初にオイスカ活動の歴史と現在の活動、また訪日研修生の帰国後の活動報告等を行い、先生方にオイスカ活動を理解していただきました。

今後もオイスカを支援するため、行事や海外派遣にも積極的に足を運び、オイスカ活動の意義を深く意識しながら、佐賀県議連の独自の活動等を通じて連盟の充実に努めていかれると思います。(安東)



## 福岡県庁オイスカパネル展・野菜販売会

8月3日～12日にかけて、福岡県庁ロビーにてオイスカ展及び野菜の販売会を実施しました。今回、福岡県庁の計らいで、場所の提供を受け、オイスカ活動をより広く多くの県民へも理解をして頂こうと実施させていただきました。活動報告はオイスカ全体の取り組みや、日本で研修を受け、帰国してから、現在どのような活動を各國で行っているかを展示し、また、「Youは何しに日本へ？」で放送された内容を映し出しました。多くの方にご覧いただけたようです。野菜の販売では、小川福岡県知事を始め、多くの方々にお立ち寄り頂き、大量に搬入した野菜も完売しました。次回は11月26日(木)、27日(金)に野菜の即売会を実施します。この機会に皆様も是非お越しくださいませ。(廣瀬)



## 日本語の様子⑤

8月の終わりから、1週間に半日、教室での日本語の時間が取れるようになりました。2か月弱は、課題を与えて自習させていましたが、提出する人、しない人と分かれます。提出している人は、読み書きの面では確実に定着しています。猛暑の中、農作業をして、夜は睡魔に襲われます。体力的な面、また、精神的な心配や、悩みもあるでしょう。なかなか難しいとは思いますが、12月の日本語能力試験まで残すところ、3か月を切りました。朝晩は、涼しく過ごしやすくなってきたので、みんなで声を掛け合って、頑張ってほしいです。

また、今年も11月に大野城市にて行われる日本語スピーチコンテストに5名の研修生が立候補しました。忙しい日々の中、自らに課題を与え取り組もうとするチャレンジ精神は、こちらも頭が下がります。頑張れ！研修生！

(立石考子)



※部屋の壁一面に！漢字を勉強しているマーティン(メキシコ)

## 農場研修風景

今年の夏を思い返すと、7月の豪雨から始まった長い梅雨とその後の記録的な猛暑、そして2度の台風直撃と、農作物を栽培するうえで非常に困難な季節となりました。今年のお米の出来はといいますと、2度にわたる台風による倒伏の被害が所々に出てしまい、研修生全員で倒れた稲を刈り取る作業が大変でした。

そして、昨年同様ウンカの被害が山間部を中心に出たため、オイスカの田んぼはまだよかったです、他の田んぼでは稲が枯れてしまう被害が出ました。

また、野菜の方は7月の豪雨被害が出た頃から、長雨による根腐れなどで病気の被害が見られ、スーパーマーケットでの野菜の価格の高騰でもわかるように、生育不良でダメになる野菜が結構ありました。特にひどかった野菜はスイカ、ピーマン、トマトなどでスイカなどは収穫を間近にして殆どが病気による立ち枯れで出荷できなくなってしまいました。近年の異常気象で農業経営は益々難しくなっていますが、それでも収穫できる喜びを研修生と一緒に味わいながら、農業の楽しさを実感してもらえるように指導をしていきたいものです。(豊田)



稻の収穫

ブドウの販売準備



## 会員様紹介

株式会社シアーズホームグループ HD ~Your happy makes us happy~

### オイスカに入会したきっかけ

もともと、国際的なボランティアを企業としてやりたいという気持ちがありました。そのような時に熊本の丸光グループの山田社長からオイスカを紹介してもらい、本格的な活動をやらせて頂くことになりました。

日本が繁栄しているのは世界の国々のおかげであると思います。そのご恩返しとして発展途上国に国際ボランティアをしたいと思っています。

### オイスカへのメッセージ

今後のオイスカの活動を通じて、オイスカの理念を根底に、世界における日本の存在意義と日本人の良さ、日本の善意を広めていただきたい。そして、発展途上国に貢献していただきたいと思います。

### 会社紹介

シアーズホームグループは2018年に創業30周年を迎え、熊本・福岡・佐賀を拠点に住宅販売を中心に展開している会社です。「安心と満足の家づくり」を経営理念に、完全注文住宅から企画型の省コスト・コンパクトハウスまでを販売。お客様のニーズにお応えするために、グループ全体で、様々な料金設定やデザインの商品をご用意しております。おかげさまで、毎年順調に建築棟数の実績を伸ばし、2019年度のシアーズホームグループ全体建築棟数は733棟。これまでに積み重ねた施工実績は5500棟(2020年2月迄の実績)以上に。新築住宅以外にも、リフォーム・リノベーションや、家具・雑貨のライフスタイルストア「アクタス・熊本店」、機能訓練専門デイサービス「きたえるーむ」熊本南店・福岡昭代店の運営などもしております。今後も、住まいを通して地域の皆様により良い暮らしをご提供して参ります。



シアーズホームグループ本社ビルの内観



シアーズホームグループ本社ビルの外観

### ◇熊本本社◇

〒862-0968 熊本市南区馬渡2丁目12番35号 TEL096-370-0007 FAX096-370-0700

### ◇グループ会社◇

株式会社シアーズホーム、株式会社ジャストホーム、株式会社サンタ不動産、株式会社シアーズエステート

株式会社シアーズアセットビジネス、株式会社シアーズファイナンス、株式会社 Smart Growth

代表取締役 丸本 文紀 社員数 グループ総数 443名(2020年4月時点)

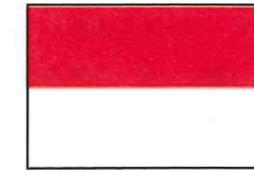
URL <https://searshomegroup.co.jp/>



## 研修生の紹介



インドネシアのスカブミから来ました。Hana Ayumi です。ニックネームはハナです。日本に来る前はスカブミセンターの研修生でした。



←稻刈りの様子

- インドネシアの有名な場所…ボロブドゥール遺跡です。故郷のスカブミでジュンバタンガントゥンというつり橋が有名です。
- 好きなインドネシア料理…ナシレウェックです。これはスンダ地方の特製ご飯です。肉団子スープのバクソも好きです。
- 好きな日本料理…お好み焼き、おにぎり、納豆、みそ汁が好きです。
- 趣味…私は写真を撮ることが好きです。携帯で撮ります。風景の写真がいちばん好きです。
- 帰国後にしたいこと…センターで働きます。そして日本語を教えたいです。その後でレストランと果物畑を作りたいです。お客様が食べた後、果物の収穫ができるようにしたいです。面白いと思います。



Nasi liwet

Bakso



メキシコのプエブラから来ました。Osorio Hernandez Martin です。ニックネームはマーティンです。日本に来る前は大学で勉強しながら子供に英語を教えたり、オイスカメキシコの植林活動や父の畑で野菜や花の栽培をしていました。

- メキシコの有名な場所…故郷のプエブラにあるポポカテペト山(5426m)とイスタシワトル山 (5,230 m)です。この火山を上から見ると女人と男の人々に見えるという話があります。
- 好きなメキシコ料理…タコスが一番好きです。タコスにはいろいろな種類があります。私は辛い料理が大好きです。
- 好きな日本料理…うどん、てんぷら、納豆、ラーメン、梅ジュースが好きです。
- 趣味…木、植物、虫について調べることが好きです。ドキュメンタリーやアニメを見たり、恋愛小説を読むことも好きです。
- 帰国後にしたいこと…大学を卒業して、自分の会社を作りて植林活動を広めたいです。



←踊りを披露した時の様子



上から見た火山のイメージ図



Popocatépetl

tacos

## ラボパーティー交流会

8月8日(土)、今年度になって初めての交流会がセンターにて開催されました。今回交流会に参加したグループは、「ラボパーティー」という全国組織の団体で、当日は指導者と子ども含めて34名が参加して賑やかに開催されました。コロナ禍の影響の中で、交流会の内容はだいぶ変更になりましたが、午前中は野菜の収穫作業と川遊び、そして午後から夜にかけて研修生の国の紹介からダンスの体験、花火大会など密を避けながら盛りだくさんの内容で楽しい時間を過ごしました。研修生にとっても子どもたちにとっても久しぶりの交流会の機会ということで、開始当初はどうなる事かと心配もありましたが、始まってみればすぐに打ち解けて、お互いにとても楽しそうにプログラムに参加していました。夜の花火大会が終わった後に、参加した子どもたちが「もっとここにいたい。帰りたくない」とスタッフの方に話している様子を見て、短い時間でしたが研修生と仲良くなり、お互いに楽しい時間を共有できたことを嬉しく思いました。(豊田)



野菜の収穫体験

国の紹介

## アトリエ木下写真撮影会 in 西日本研修センター

オイスカ会員のアトリエ木下様より、西日本研修センターの海外研修生の日々の研修の様子を撮影していただきました。午前午後と2グループで8人のフォトグラファーによる撮影で研修生達は毎日の研修を写真に撮っていただこうと、多少緊張した面持ちの中撮影会に臨みました。色々な場面で色々な角度からたくさんの研修記録写真をカメラに収めいただきました。また毎年アトリエ木下さんのスタジオでも撮影会を行っていただき素敵な写真を展示していただいています。撮影していただきました写真は研修アルバムとして研修生へ贈呈していただくことになり、アトリエ木下さんのWEB写真展に現在写真を展示していただいている。

インスタグラムでご覧になります。ぜひご覧いただき「フォロー」をお願いします！！(満川)



人参の種まき



アトリエ木下さんの WEB 写真展はこちらの

QRコードからアクセスできます！！



アカウント名 oisca\_photo\_exhibition

←

## 外部研修

9月1日から8日までみそ作りの外部研修で東峰村のカネダイへ行つきました。その時、坂本さんの家にホームステイをしました。坂本のお父さんとお母さんはやさしくて私の両親みたいです。カネダイは170年前に始まりました。大きい会社です。最初はお酒を造る会社でした。いまは味噌を作っています。そこで初めて機械で味噌の袋詰めをしました。面白かったです。また久留米へ麹菌の勉強にも行きました。麹菌は強いので味噌を作る時は納豆を食べてはいけないそうです。私は初めて知つて驚きました。一週間いろいろなことを教えていただき本当にありがとうございました。(ウス)



味噌の袋詰め



カネダイの皆さんと集合写真



高取公民館



室見公民館

**福岡アジアフィルムフェスティバル 2020**  
福岡アジアフィルムフェスティバルが9月17日から22日まで福岡アジア美術館で行われました。例年映画祭には海外の研修生たちをご招待していただいていますが、今年は3密による配慮で映画鑑賞はせず、オイスカの新米をはじめ手作りイチジクジャム、研修生OBたちが現地で製作した民芸品などを映画会場のエントランスホールで販売をさせていただきました。ご来場をされたお客様には、たくさんお買い求めいただきました。このイベントを企画されました福岡リバティライオンズクラブの北村様(株シップス代表取締役)には大変お世話になりました。ありがとうございました。(満川)



## 世界の絵本の読み聞かせ

9月12日(土)に高取公民館で絵本の読み聞かせが行われ、テンジンさん(チベット)とニプンさん(インド)が参加をしました。今回は30分ほどのオンライン配信で国の紹介、絵本の読み聞かせ、手遊び歌、踊りを披露しました。2人とも緊張気味でしたが、パソコンの画面から参加者の子ども達が見て楽しめたようです!9月26日(土)には室見公民館で行われ、内容は前回と同じですが子ども達と対面での交流でした。国の紹介をした時には子ども達から様々な質問があがりました。チベットの手遊び歌、インドの踊りは2人の真似をして一緒に楽しんでくれました。テンジンさんの子どもとの接し方、ニプンさんはダンスが上手で好評でした。2人とも子ども達がいろいろ質問をしたり一緒に踊りをしてくれて嬉しかったようです。(園田)

## 夏休み

8月の休日にスタッフと研修生で糸島、背振山、大分へ出かけました。糸島では海を見るだけの予定でしたが研修生達は海に入る準備をしっかりしていたので、すぐに海で遊びはじめました。背振山へ行ったときは天気がよく、見晴らしのいい景色を見ることができました。8月下旬には大分の竜門の滝と九重の夢大吊橋へ行つきました。今回の夏休みにリフレッシュできたのではないかと思います。(園田)



## OB 研修生の紹介

今年の3月に帰国したメキシコのモイさんから早速活動報告が届きましたので、その内容について皆さんにお伝えしたいと思います。モイは帰国前のアクションプランの作成で、アガベという植物(テキーラの原料)を使った植林のプロジェクトを考えました。メキシコの山間部でサボテンが育つような乾燥地帯では、普通の樹木は育たないらしく、このアガベという植物を植えて山の緑を守り、土砂崩れなどの被害を防ぐとアクションプランの発表で説明をしてくれました。寡黙な男でいつもニコニコしながら作業に取り組んでいたモイさんは、故郷でどんな活動をしているのでしょうか。

### <モイからの報告>

みなさんこんにちは。私はモイです。2019年の研修生です。日本を離れる前からコロナの問題が起こり、国に帰れるかどうか心配でしたが、何とかエリサも一緒に帰ることができました。私が国へ帰ってから今までの活動について報告します。私の予定では、地元の高校生が住んでいる寮の敷地内に畑を作り、そこでアガベの苗をつくる予定でしたが、コロナの感染拡大でその寮が閉鎖されて使用出来なくなりました。そこで私は自分の家で苗をつくることを考え、写真のように苗の生産をしました。苗は順調に育ち、地元の青年に手伝ってもらい、山にアガベの植林をしました。センターで習ったボカシ作りも行いました。アガベの植林は近所の若者が手伝ってくれたので助かりました。今はまだ高校生の寮が閉鎖されていますが、また寮が再開された時には、たくさんの若者にも参加をしてもらいアガベの植林を増やしていきたいです。



アガベの播種



アガベの芽



アガベの定植をするモイさんと青年達

## フリースクール玄海生徒宿泊研修

フリースクール玄海より生徒2名が9月15日から19日まで西日本センターで研修生たちと寝食を共にしながら宿泊研修をしました。生徒たちは日々の生活から離れ、初日の農業研修がスタートしました。早朝5時45分に起床して洗面、そして作業着に着替え農場へ、研修生たちと野菜の収穫体験をしました。日中の農業実習では野菜の手入れや種蒔きなどをしたり、今回はなんとイノシシの解体にもチャレンジするなど緊張した面持ちの中スタッフと一緒に調理をしました。オイスカでの日常生活においても初めて経験することも多かつたようです。オイスカでの研修を良き思い出として、これからも頑張ってください。お疲れさまでした。(満川)



(前列右側より3人目・4人目フリースクール生徒)

